

令和3年1月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和3年1月21日(木)

時 間 午前10時～午前10時50分

発 表 内 容

- 1 コロナに負けるな!! 「子育て・暮らし応援券」について
……<社会福祉課>
- 2 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保・プロジェクトチーム
の設置について
……<市民生活課・総務課>
- 3 県民限定宿泊キャンペーン・島民限定日帰り入浴半額キャンペーン
について
……<観光振興課・市民生活課>
- 4 佐渡航路事業継続支援について
……<交通政策課>
- 5 新型コロナウイルス感染拡大防止へのお願いについて
……<防災管財課>
- 6 防災拠点庁舎整備計画(案)についての意見募集
……<企画課>
- 7 「佐渡ビジネスコンテスト2021」の申込を開始しました
……<地域振興課>
- 8 若手職員による「政策提案事業成果発表会」の結果について
……<総務課>
- 9 ポート・オブ・ザ・イヤー2020に佐渡島の港が決定しました
……<建設課>
- 10 「にいがたふるさとCM大賞」準グランプリ受賞作品について
……<総務課>

【事前質問】

①市内で確認された新型コロナウイルス感染者のその後の経過と、濃厚接触者などへの感染の広がりはどうか？（市民生活課）

市長記者会見発表内容 要旨 （R3. 1. 21）

1 コロナに負けるな!! 「子育て・暮らし応援券」について

【配布チラシあり】

<概要>

○感染拡大の影響が長引くことが想定されるため、子育て世帯、生活支援を必要とする世帯へ「子育て・暮らし応援券」を発行、給付します。

○対象

1) 「子育て応援」

・市内に住所を有する18歳以下の子どもを対象。

2) 「暮らし応援」

・生活保護世帯、住民税非課税世帯のうち、高齢者のみの世帯、障がい者の属する世帯の世帯主。

○基準日

・令和3年1月1日

（子どもに対する給付は基準日以降から4月1日までに生まれた子どもを含む）

※対象が異なるため子育て応援と生活応援の重複給付が可能です。

○応援券

・金額：1万円（500円券20枚が1セット）

・子育て応援は子ども1人に1万円、生活応援は1世帯に1万円。

○申し込み

・該当される方へ1月20日に案内を送付しました。

・2月10日（水）までに市役所本庁または最寄りの支所、行政サービスセンターに提出ください。（郵送も可）

○利用期間

- ・ 3月10日（水）から5月31日（月）まで

○利用可能店舗

- ・ 生活必需品、飲食店等で幅広く利用出来るよう対応予定です。
- ・ 昨年のプレミアム商品券取り扱い店舗へ協力継続依頼中です。

2 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保・プロジェクトチームの設置について

<概要>

○新型コロナウイルスワクチン接種は、国の主導のもと都道府県及び市町村が協力し合って実施するものです。

○接種順位

- ・ ワクチン供給状況により国が公表し順次接種。
- ・ これまでの国の方針で医療従事者等を優先に、高齢者、基礎疾患を有する者へ順次接種する見込み。

○接種場所

- ・ かかりつけの医療機関で個別接種を検討しているが、ワクチンの取り扱い方法等、不透明な部分もあり、国へ情報を確認しながら医師会と調整を図っています。

○開始時期

- ・ 国が接種の時期を公表することとなっているが、医療従事者は2月下旬、高齢者を3月下旬の予定で準備を進めています。

○プロジェクトチーム設置

- ・ 接種可能となったら速やかに実施できるよう2月1日付けで市民生活課に「新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム」を設置します。
- ・ メンバーは元健康推進室の室長をリーダーに、保健業務の経験者等で構成する10名体制とします。
- ・ 業務はワクチン接種計画の策定、実施に向けた医療機関との調整、ワクチン流通に関する調整、接種会場・スタッフの確保等を行います。

3 県民限定宿泊キャンペーン・島民限定日帰り入浴半額キャンペーン

について

【配布チラシあり】

<概要>

- 「県民限定宿泊キャンペーン第2弾」は観光事業者一丸となり「佐渡クリーン認証」の徹底に努め、市民の安全を第一に進めています。
 - ・県民限定宿泊キャンペーンに1,500人泊分を追加します。
 - ・対象期間を2月28日（日）まで延長します。
 - ・島外からの入込みが期待しにくい状況下でも、経済への影響を少しでも緩和するため、宿泊料金の1/2（6,000円を上限）を市が補填。
 - ・予約方法は、利用する宿に直接申し込みください。
 - ・体調管理を万全に、ご家族など少人数で安心安全に、ゆっくり・楽しく・おくつろぎいただき、気分や身体のリフレッシュを。

- 「島民限定日帰り入浴半額キャンペーン」
 - ・対象期間を2月14日（日）まで延長します。
 - ・キャンペーン参加の入浴施設では感染防止対策を徹底しています。
 - ・宿泊を伴う施設では休業する場合があります。詳しくは利用される施設に確認をお願いします。

4 佐渡航路事業継続支援について

<概要>

○行政支援

- ・第三者割当増資による株式取得費用として3億5千7百98万2千円が議会承認されました。

○株式数

- ・新たに取得する株式数は160万5千3百株。
- ・現在佐渡市が保有する18万2千百株と合わせ、178万7千4百株となり、新潟県に次ぐ2番目の株主になります。

※佐渡汽船の経営改善が着実に取り組まれるよう、経営状況を定期的に確認しながら新潟県・関係市と連携し、佐渡航路の安定化に努める。

5 新型コロナウイルス感染拡大防止へのお願いについて

<概要>

- 政府は13日、関西圏等の感染拡大状況や医療提供体制のひっ迫状況等を踏まえ11都府県に緊急事態宣言を拡大。
- 新潟県では独自の警戒レベル「警報」の継続延長を発表。
 - ・「県央地域での感染拡大」と「県内スキー場で県外から応援に来られた従業員の感染事例」が多いことから注意喚起を追加。
 - ・感染拡大地域との往来は極力控える。
- 感染拡大防止について（基本的な感染対策の徹底を）
 - ・新型コロナウイルス感染症は、主に「飛沫感染」「接触感染」によることから「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」を、あらためて徹底してくださるようお願いいたします。
 - ・全国の感染状況は日々変化。他都道府県との往来はその地域の感染状況など最新の情報を取り入れ、感染状況によっては延期や再検討するなど適切な判断をお願いいたします。
- 佐渡市へ来訪される方へ、次の3点について特にご注意ください。
 - 1) 来訪される2週間前からの行動として、クラスターの発生要因である「感染リスクが高まる5つの場面」① 飲食を伴う懇親会等 ② 大人数や長時間におよぶ飲食 ③ マスクなしでの会話 ④ 狭い空間での共同生活 ⑤ 居場所の切り替わりを避ける行動を同居する家族全員で徹底すること。
 - 2) 来訪1週間前から来訪当日にかけて、発熱などの風邪症状が無いことを確認し、体調が悪いときは来訪を延期するなど再検討すること。
 - 3) 来訪中も発熱などの風邪症状が無いか確認し、基本的な「飛沫感染予防」と「接触感染予防」を心がけること。
- 体調に異変を感じたときは、新潟県新型コロナ受診・相談センター（電話025-256-8275 毎日24時間対応）、かかりつけ医に電話連絡のうえ、早めの検査をお願いいたします。
- 一人一人の感染拡大防止に対する心掛けとその行動が、皆様の安全安心な暮らしにつながるものと思います。ご協力をお願いいたします。

6 防災拠点庁舎整備計画（案）についての意見募集

【配布資料あり】

<概要>

○防災拠点庁舎整備計画について

- ・平成26年策定の「佐渡市新庁舎建設・整備基本計画」を基に「佐渡市防災拠点庁舎建設・整備工事 基本計画(案)」がまとまりました。

○防災拠点庁舎整備について

(目的)

- ・全国各地の災害の状況を鑑み、新庁舎に防災機能を強化した整備を行い、災害等の緊急時においても業務が継続できる体制をつくる。
- ・現場把握、情報収集、指揮命令を迅速確実にできる司令塔として機能する庁舎が必要である。
- ・プライバシーの確保、バリアフリー対応等を実施し、市民サービスの向上を図る。

(コスト面)

- ・将来に負担を残さない庁舎整備が進められる。
 - * 合併特例債活用で佐渡市の負担額は約10億円。
(これは庁舎を建てず、現庁舎改修のみとしていた旧計画と同程度の負担)
 - * 現庁舎改修は防災拠点庁舎建設と一体整備で合併特例債の対象となり、約2億円の負担で実施可能。
 - * 25年後までの総事業費を比較した場合、現計画では約38億円減額できる見込み。

◎平面図など基本設計(案)を広く公表し、市民の皆様からご意見を募集し、現在進めている設計に反映させていくことを目的に、意見募集（パブリックコメント）を実施します。

○募集期間：令和3年1月22日(金)から令和3年2月19日(金)まで

○基本設計(案)は、各支所、サービスセンター、各図書館、地区教育事務所、市ホームページ等で閲覧可能。

○パブリックコメントの詳細は、市報さど1月号に掲載のほか、市ホームページにも掲載します。

7 「佐渡ビジネスコンテスト 2021」の申込を開始しました

<概要>

「佐渡ビジネスコンテスト2021」

日本全国から優秀なベンチャー企業を佐渡に誘致する。

○開催：令和3年2月13日（土） あいぽーと佐渡

○申込期間：1月13日（水）～2月3日（水）

○コンテスト本選参加数：最大で5事業者

○支援：

- ・優秀な成績を収めた企業に国の地域社会維持推進交付金と連動した助成。
- ・インキュベーションセンター整備等「起業成功率No.1の島」を目指すための佐渡市独自の支援。

○コンテスト：コロナウイルス感染防止の観点から無観客で開催。

◎市民の皆様方には、後日、CNS テレビ（112チャンネル）の特別番組でコンテストの様子を放送する予定です。

8 若手職員による「政策提案事業成果発表会」の結果について

<概要>

○若手職員による政策提案は、若手職員の意見を市の政策に反映させ、職員の政策立案能力を向上させる目的で実施。

○この取組みは、市の重点政策「福祉、健康医療、地域づくり、産業観光、教育」の5つのテーマについて、若手職員5人1グループで、1カ月半政策を検討し12月24日に成果発表会を行った。

○審査結果次の2つを優秀提案に決定。

①教育グループ「佐渡株式会社～あつまれ 子どもたちの島～」

- ・保護者が株主、子どもたちが社員となり、株式会社を設立。
- ・企業経営等ビジネスモデルの実践、佐渡製品の知識や佐渡の魅力を学ぶ。
- ・郷土愛を育む事で、将来、佐渡を想い、帰ってくる子どもに育てて行く。

②福祉グループ「農業と福祉のいい連携」

- ・障がい者が農業分野で活躍できるよう、農家と福祉事業所をつなぐコーディネーターを配置する。
- ・おけさ柿をモデルケースとした具体例の他取れた産品を学校給食で活用。

- ・佐渡総合高校と連携し加工品を販売する。
- この2つは佐渡総合高校が取り組んでいる「模擬株式会社」の企業経営や販売戦略などとの連携も見据え、今後事業計画、予算根拠のブラッシュアップを行い、事業実施に向け担当課と調整。

9 ポート・オブ・ザ・イヤー2020に佐渡島の港が決定しました

【配布資料あり】

<概要>

- ポート・オブ・ザ・イヤーは日本港湾協会が、わが国の港湾・臨海部の活性化に寄与し「みなと元気」を高めた港湾を選定。
- 日本港湾協会発行の情報誌「港湾」の読者投票により佐渡島の港が「ポート・オブ・ザ・イヤー2020」に決定しました。
- 佐渡は古くから人・物の交流を港が支えており、本年はその交流をさらに発展させ、世界文化遺産への登録を見据え大きく飛躍する「節目」であるとの推薦理由から選定されました。
- 表彰式は新型コロナウイルス感染拡大にともない延期。（時期未定）

10 「にいがたふるさとCM大賞」準グランプリ受賞作品について

<概要>

○第1回にいがたふるさとCM大賞

- ・新潟県内の各市町村が、地域の活性化のために地元愛あふれるまちの魅力を30秒に盛り込んだCMを制作しグランプリを競うもの。

（今回は24市町村がエントリー）

主催ふるさとCM大賞実行委員会（新潟テレビ21、新潟県、市町村振興協会）

○佐渡市の作品

- ・タイトル「安心・安全・おもいやりの島『佐渡』」

コロナ禍で訪れる人も迎え入れる人もお互いを思いやれる島であるためにマスクの着用・距離の確保等の対策を様々な立場から趣向を凝らし表現。

○副賞

- ・CM動画を1月～8月の期間で50本放送。

- ・ 二次展開として新潟県アンテナショップ等での放映や、UX 公式チャンネル等での配信を予定。

* 佐渡市公式 YouTube チャンネルでも配信しています。